



取扱説明書



モデルシリーズ 90000 Classic, Sprint, Quattro

モデルシリーズ 100000 Q

モデルシリーズ 120000 Quantum



CLASSIC™



QUANTUM®



Q

ブリグス & ストラットン ジャパン

FORM LM 0702 JP

安全のために

シンボルと警告:

 この安全アラーム・シンボルは、人身負傷事故を起こし得る危険についての安全情報を示すものです。シグナルの語(危険、警告、または注意)は、警報シンボルとともに使われ、重度の負傷が起こりえる可能性と確率を示します。付け加えて、危険シンボルは危険の種類を示すのにも使われます。

 **危険** は避けられなかった場合、死亡事故や重度の負傷事故が起こる危険を示します。

 **警告** は避けられなかった場合、死亡事故や重度の負傷事故が起こるかもしれない危険を示します。

 **注意** は避けられなかった場合、軽度や中度の負傷事故が起こる危険を示します。

注意 (シンボルなしで使用) は製品への損害をもたらす状況を示します。

  ・エンジン始動前にこの取扱説明書をお読み戴き十分に理解してください。
・十分に理解されず間違った取扱いをした場合、ケガをすることがあります。

本取扱説明書に表示されている国際記号



火災



回転部注意



注意



キックバック



説明書参照



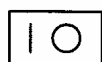
化学的危険



爆発



電気ショック



ON OFF



オイル



ストップ



低速



猛毒ガス注意



高温注意



燃料シャットオフ



チョーク



燃料



高速

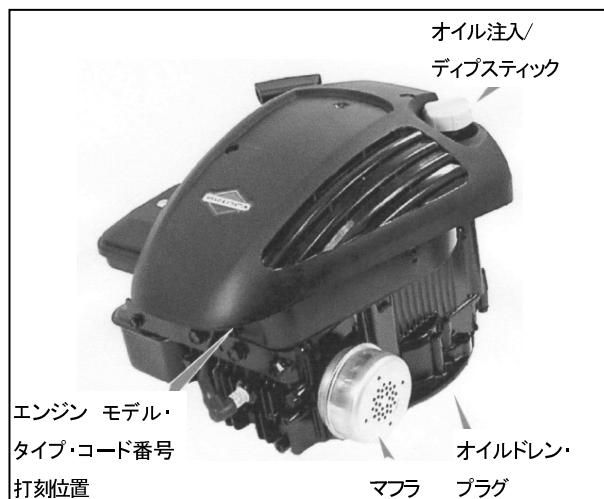


警告

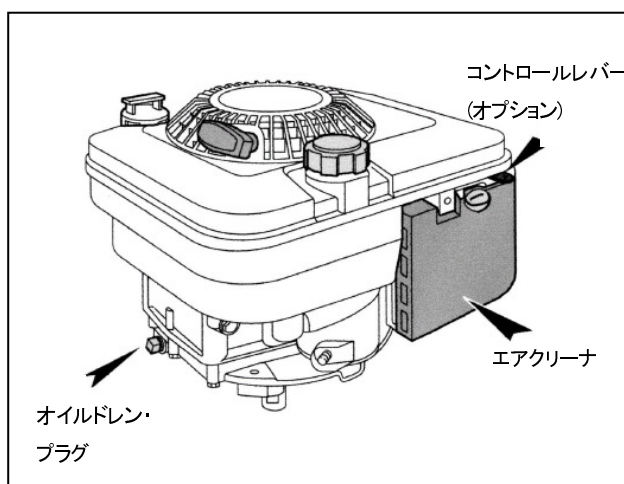
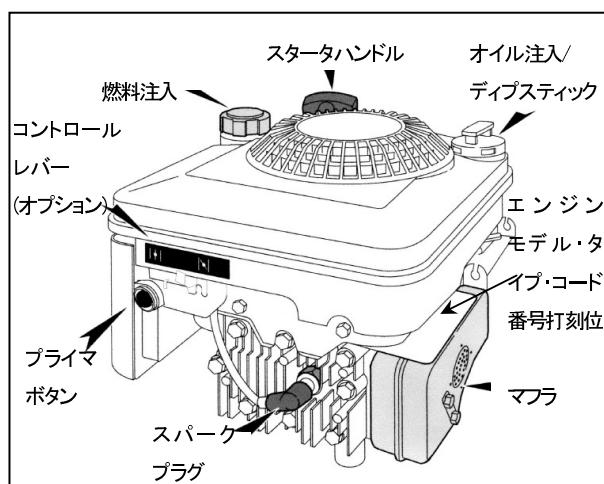
エンジンの排気ガスにはカルフォルニア州が定める発ガン性物質が含まれており、出生障害や他の障害を発生する恐れがあります。

各部の名称

モデルシリーズ 90000, 100000



モデルシリーズ 120000



- ・エンジン始動前にこの取扱説明書をお読み戴き十分に理解してください。
- ・十分に理解されず間違った取扱いをした場合、ケガをすることがあります。

エンジン始動までの簡単手順

① オイルを入れる

どんなオイル?

高品質の SAE 30 のオイルを入れます。

どの位?

ディップスティックの FULL まで約 0.6 リットルです。

どのように?

オイルキャップを緩め、オイルをゆっくりと入れます。キャップを元通り取り付けます。

どんな注意をする?

- ・入れすぎないこと。
- ・エンジンは逆さにしないこと。



ゲージを拭いて、ディップスティックを差込んでねじ込んでから、外してオイルレベルを確認する。

② ガソリンの注入

どんな種類?

自動車用無鉛レギュラーで 85 オクタン以上。

どのくらい?

注入口より約 3mm ほど下まで注入してください。

どのように?

タンクキャップを外して、ゆっくりとガソリンを注入し、キャップを締めます。

どんな注意をする?

給油は屋外で行なってください。もしこぼした場合、十分に揮発したことを確認してからエンジンを始動してください。



モデルシリーズ 90000, 100000



モデルシリーズ 120000



警 告



エンジン始動時にはスパークします。ガソリンとその蒸気は極めて可燃性が高く、爆発性があります。



火災または爆発により、ヤケドや死亡事故が起こる可能性があります。もしこぼした場合、十分に揮発したことを確認してからエンジンを始動してください。

③ プライマボタンを押す

何回押すのか？

新品のエンジンを始めて使用するときは5回を、他のときは3回押します。

どのように？

指でプライマボタンを押します。一回押した後、2秒ほど間隔をあけてから押してください。

どんな注意をする？

押しすぎるとガソリンがこぼれることがあります。エンジン始動しないで、「トラブルシューティング」を参照してください。



モデルシリーズ 90000, 100000



モデルシリーズ 120000

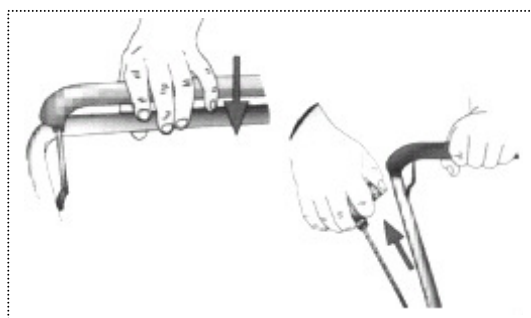
④ スタータハンドルを引く

どのように？

芝刈機の後方に立ち、ハンドルパイプとコントロール・バーを一緒につかみます。スタータハンドルを軽く引き、重さを感じたところから、一気に引きます。

どんな注意をする？

もしエンジンにスピードコントロール装置がある場合は、高速としてください。



 警 告	
	スタータ・ロープが早く巻き戻る（キックバック）と、手や腕がエンジンに引き込まれることがあります。キックバックを防ぐために、スタータハンドルを軽く引き、重さを感じたところから、一気に引きます。
	骨折や打ち身、捻挫などが起きる場合があります。 回転部には手や足、頭髮、衣服など身につけているものから離してください。からだを傷つけたり、重度の裂傷が起きる可能性があります。

エンジン停止

コントロール・バーを離してください。エンジンブレーキが効かり、ブレードが止まります。

スタータハンドルが引けない

- コントロール・バーを離してもフライホイールへのブレーキが離れていない。
- 芝刈機を平らな面におきます。
 - ・ エンジン始動前には全ての負荷となるものを外してください。例えばブレードやインペラなどを外します。



警告



エンジンが始動しない

- オイルレベルがゲージの「FULL」マーク以上、入り過ぎているか
 - ・ 入れすぎた場合は、ゲージの「FULL」マークまで抜いてください。
 - ・ エアクリーナエレメントを点検して、フィルタがつまっているのであれば、清掃するか交換してください。
- 燃料が空
 - ・ ガソリンの補給
 - ・ プライマボタンを押す。
- 燃料の吸い込み過ぎ
 - ・ チョーク(オプション)を全開(OPEN/RUN)とし、スロットル(オプション)を高速としてスタータハンドルを引きます。
- スパークプラグの汚れ
 - ・ スパークプラグを外して、清掃するか新品と交換してください。「メンテナンス」の項目を参照してください。

注意

エンジンオイルは入れすぎないでください。入れ過ぎると白煙を吐いたり、始動不良、スパークプラグの詰り、エアフィルタのオイル付着が起こることがあります



警告



- ・ エンジン始動前にはエアクリーナとタンクキャップが正しく取り付けられていること。
- ・ 燃料給油の際、エンジン停止後 2 分以上経過して冷却してください。
- ・ 燃料ホース、タンクキャップなどに損傷が無いか確認。必要に応じて交換。
- ・ スパークプラグを外してクランクしないでください。

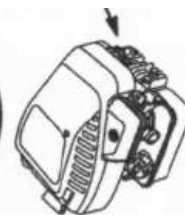
白煙を吐いたり、回転が不安定

- 芝刈機輸送時にエンジンを倒した
 - ・ スパークプラグがオイルで濡れているか確認。
 - ・ エアクリーナにオイルが付着していない確認し、付着していれば清掃もしくは交換。

注意

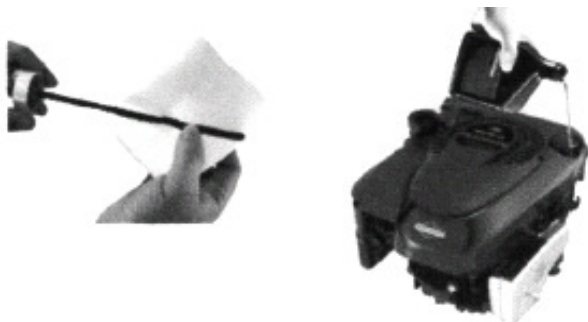
輸送時や無を得ず倒す場合は、ゴミを取り除き、オイルを抜いて、必ずスパークプラグを上にしてください。

スパークプラグを上とする



(レディスタート)簡単な始動方法

1. ディップスティックを引き抜き「FULL」まであるか、オイルレベルを確認します。オイルは外気温度に合せて推奨リストから選定してください。



2. スロットルコントロールが取り付けられていれば、FAST(高速)とします。
3. 芝刈機のエンジンストップレバーを握ります。



4. ロープハンドルを握り、ロープに抵抗を感じる程度まで引き、ハンドルを一気に引きます。ロープが強く引き込まれる(キックバック)とならないように注意してください。

警告



警告



- ・スパークプラグ、マフラ、燃料タンクキャップ、エアクリーナは正しく取り付けられていること。
- ・スパークプラグを外したままでエンジン始動しないこと。
- ・付近で天然ガスやプロパンガス等が漏れている場合は始動しないこと。
- ・始動促進剤等は使用しないこと。揮発したガスは揮発性が高くなっています。

警告



- ・エンジン始動は屋外でしてください。
- ・ドアや窓が開いていたとしても、室内では絶対にエンジンを始動しないでください。

警告



スタータロープが早く巻き戻る(キックバック)と、手や腕がエンジンに引き込まれることがあります。

骨折や打ち身、捻挫などが起こる場合があります。



回転部の部品は手や足、頭髮、衣服、装身具に触れると絡まる場合があります。

その結果からだのケガや重度の裂傷となることがあります。

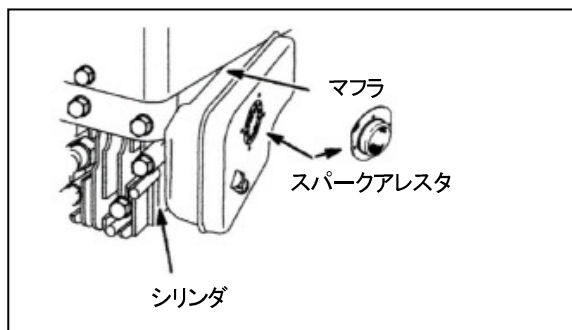
エンジンの運転

エンジン始動後は外気温に応じて数秒から数分の暖機運転をしてください。

エンジンライフを延ばすためにも、スロットルレバーがオプションで取り付けられている場合は、高速として運転してください。

- ・ガソリンがこぼれるような角度にはエンジン、本機共に傾斜させないでください。
- モアデッキに芝草が堆積しないように取り除いてください。メンテナンスの項目参照

 警 告	
	エンジンには、無色・無臭な有毒ガスである一酸化炭素を排出します。 一酸化炭素を吸入すると吐き気や失神を起こしたり、志望する場合があります。



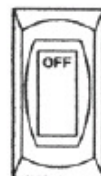
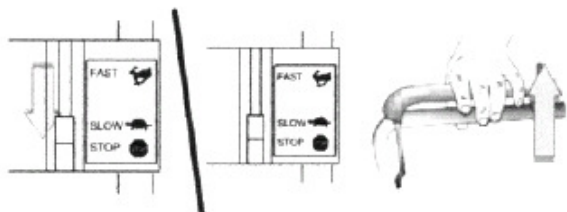
 警 告	
	運転中のエンジンは熱くなります。エンジン部分、特にマフラは非常に熱くなります。 触ると重度のヤケドをします。 草や芝、灌木その他の可燃性の小片は発火する恐れがあります。
・ マフラ、シリンダ並びにフィンに冷却するまで触らないでください。 ・ マフラ周辺とシリンダ周辺の堆積した可燃物を取り除いてください。 ・ 森林地帯や芝に覆われた場所、灌木に覆われた条件の良くない場所で稼働させる前にマフラ吹き出し口にスパークアレスタを取り付けてください。米国カルフォルニア州では義務付けられています。	

 警 告	
	・ 適当な場所にガードを置きながら芝刈機を操作してください。 ・ 回転する部分に手や足を近づけないでください。 ・ 長い髪はまとめ、宝飾類ははずしてください。 ・ ゆったりとした衣服や垂れ下がる紐、その他巻き込まれやすい品は身につけないでください。

エンジンの停止

エンジン停止方法は搭載された作業機によって異なります。下記を参照。

1. スロットルコントロール・レバーが取り付けられている場合は、低速もしくは停止としてバーを離します。もしくは
2. ストップスイッチをOFF とします。もしくは



3. キーをOFF に回します。子供が触らないようにキーを抜いておきます。
4. 燃料シャットオフバルブが取り付けられていれば閉めます。

注 意
チョークが取り付けられているエンジンで、チョークを引いてエンジン停止をさせないでください。バックファイヤや火災となることがあります。

オイル

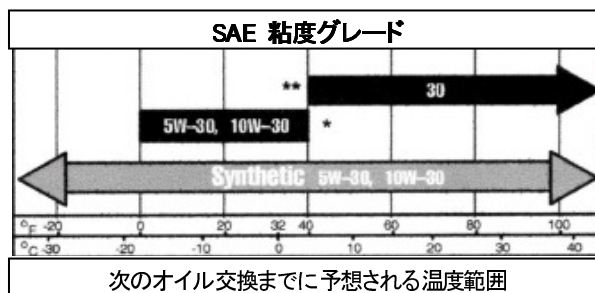
容量

エンジンのオイル容量は約 0.6 リットルです。

- ・ 高品質の SAE #30 自動車用オイルを使用してください。
- ・ 添加剤は使用しないでください。
- ・ 右表に合わせた粘度のオイルを選定してください。



注意: ILSAC GF-2 基準に達し API 承認マークと API サービスシンボル(左図)を持つ合成オイルで、「SJ/CF エネルギー節約」またはそれ以上のものは、全ての温度で使用することができるオイルです。合成オイルを使用しても、要求される次のオイル交換までの期間が長くなるわけではありません。



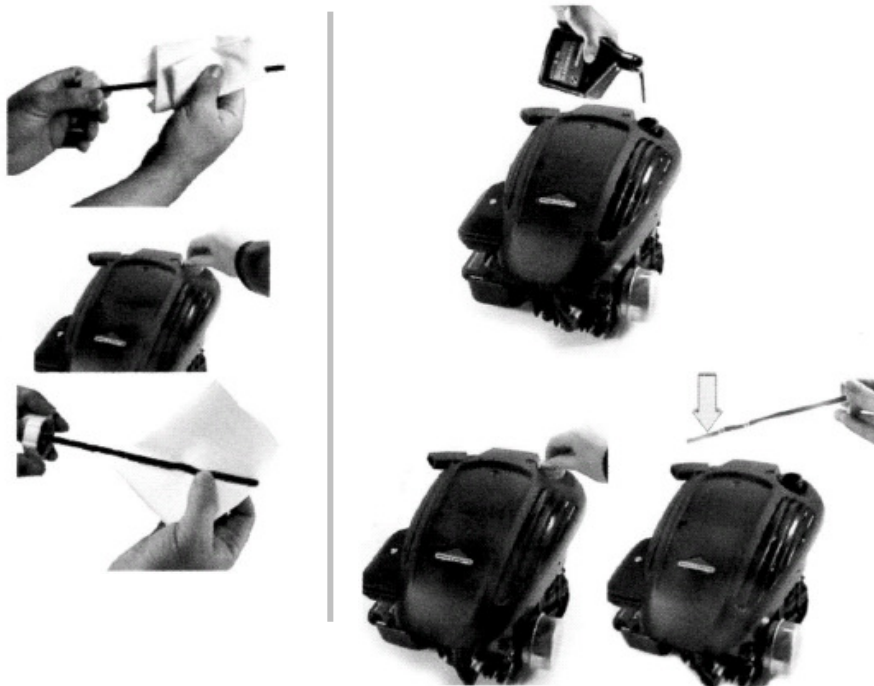
注 意

- * 空冷エンジンは自動車用エンジンよりも高温で運転されます。マルチグレードオイル(ex.10W-30)を外気温 4°C以上で用いた場合、結果的にオイル消費が増大したり、エンジンにダメージを与える可能性があります。このようなマルチグレードオイルを使用する場合は、より頻繁にオイルレベルのチェックを行なってください。
- ** #30 オイルを外気温 4°C以下で使用した場合、結果的に始動不良を起こしたり、不適切な潤滑でシリンダボアのダメージを受けることがあります。

オイルの点検

- ・ エンジン始動前にオイルレベルを点検する。
- ・ オイルレベルは毎日もしくは運転 8 時間毎に点検
- ・ オイルレベルは常に「FULL」とする。

1. エンジンを水平としオイル注入口周辺をきれいにします。
2. ディップスティックを外してきれいな布で拭き取ります。
3. ディップスティックを戻して、再度抜き取り、オイルレベルを確認します。オイルレベルは常に「FULL」となるようにしてください。
4. 必要に応じてオイルをゆっくりと入れ、レベルを確認します。入れすぎないこと。
5. ディップスティックを拭き取り、取り付けます。さらに引き抜き、オイルレベルをチェックします。



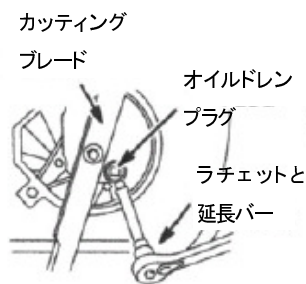
注 意

オイルは入れすぎないこと。入れすぎると始動不良や始動困難となることがあります。入れすぎた場合は、ディップスティックの「FULL」まで抜き取ること。

オイル交換

オイルは最初の運転5時間と運転8時間毎に交換します。次に50時間もしくはシーズン毎に行います。負荷が重い場合や、高温下での運転の場合、運転25時間毎に交換してください。

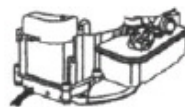
1. 燃料が無くなってエンジンが停止するまで、運転します。もしくは火災や爆発事故を防ぎながら、燃料を抜き取ります。この場合4項目に進みます。
2. スパークプラグワイヤを外して、スパークプラグから離します。
3. エンジンが温まっている間にディップスティックを外してエンジンを傾けます。
4. スパークプラグ側を必ず上にして底部もしくは、サイドドレン(取り付けられている場合)のドレンプラグを外してオイルを抜きます。
注意 オイルドレンプラグを上向きとすることをお勧めします。サイドドレンもしくは底部のドレンは図を参照。
5. ドレンプラグをしっかりと締め付け、エンジンを水平として、新しいオイルを0.6リットル注入します。ディップスティックのFULLまでとし、入れすぎないこと。ディップスティックを元に戻します。
6. エンジン始動前にスパークプラグワイヤを取り付けます。



底部オイルドレン



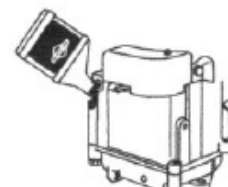
上部オイルドレン



サイドドレン
(オプション)



ハイオイル注入口



ロウオイル注入口

注 意

使用した古いオイルは危険な廃棄物です。正しく使い古したオイルを処分してください。家庭用ゴミとして放棄しないでください。安全な処分/リサイクル施設のために、あなたの地方自治体、サービスセンターまたはディーラーに確かめてください。



警 告

底部のオイルドレンで、スパークプラグ・ワイヤをスパークプラグから外さないでブレードや他の部品を回転させないでください。

ドレン
プラグ



パイプ



3/8" 角

燃料

使用燃料の種類

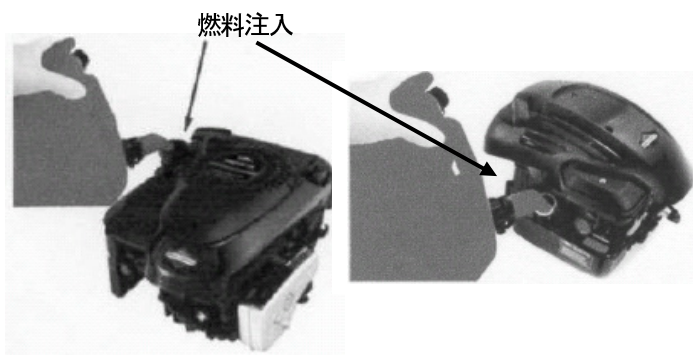
- ・85 オクタン以上の清浄で、新鮮なレギュラー無鉛ガソリンを使用してください。新鮮なガソリンは燃料系統やキャブレタ内部にガム質の形成を防ぐことができます。30日以内で使用できる分量以上のガソリンを購入しないでください。
- ・メタノールが混ざったガソリンは使用しない。
- ・ガソリンにオイルを混ぜないでください。
- ・エンジンを保護するために純正のガソリン劣化防止剤がありますのでブリグス&ストラットンのディーラーからお求めください。
- ・このエンジンはガソリンで作動することを保証します。エミッションコントロールシステム: EN

注 意

酸素処理されたガソリン、あるいは改善ガソリンにはアルコールやエタノールが混ぜられています。これらの混合物の割合が高すぎる場合、燃料システムがダメージを受けたり、性能に問題が出たりする事があります。もしも望ましくない症状が出た場合、アルコールやエタノールを含有する比率の低いガソリンを使用してください。

燃料の注入

1. 燃料タンクキャップを外します。タンクに注入する際、燃料の膨張に備えてタンクの口元から約 3cm ほど下までとしてください。溢れさせないでください。
2. エンジン始動前にキャップを取り付けてください。



警告



- ・ エンジン停止後約 2 分経過してから、タンクキャップをあけます。
- ・ 燃料注入は屋外か、換気の良い場所で行なってください。
- ・ タンクから溢れさせないでください。タンクの口元から約 3cm 程下までの補給としてください。
- ・ もしこぼしたら充分に揮発したガスがなくなってからエンジン始動してください。
- ・ ガソリンをスパークや炎、種火、熱やその他の着火源から離しておいてください。
- ・ 燃料のライン、タンク、キャップ並びに付属品にひび割れや漏れがないか、頻繁にチェックしてください。必要であれば交換してください。

エンジン仕様

このエンジンは、単気筒、サイドバルブ、空冷エンジンであると同時に、低エミッション(低排気ガス)エンジンでもあります。

カルフォルニア州では、本書に記載するモデル 90000 及び 120000 エンジンが 125 時間のエミッション基準に適合していることが CARB(カルフォルニア大気資源委員会)によって認定されています。しかし、このような認定によって、このエンジンの購入者、オーナー、オペレータに対し、このエンジンの性能や寿命に関して追加的な保証がなされるものではありません。このエンジンは、本書の別の箇所に定める製品とエミッション規定に関してのみ保証が行われます。

モデル 90000

ボア	65.09mm (2-9/16 インチ)
ストローク	44.45mm (1-3/4 インチ)
排気量	147.8cc (9.02 立方インチ)

モデル 100000

ボア	65.09mm (2-9/16 インチ)
ストローク	47.63mm (1-7/8 インチ)
排気量	158.6cc (9.67 立方インチ)

モデル 120000

ボア	68.26mm (2-11/16 インチ)
ストローク	51.99mm (2-3/64 インチ)
排気量	189cc (11.57 立方インチ)

チューンナップ仕様

アマチュア・エア・ギャップ 0.15~0.25mm

スパーク・プラグ・ギャップ 0.76mm

バルブ・クリアランスは、バルブ・スプリングを取り付け、ピストンが上死点を過ぎて 1/4 インチ(6ミリ)下がった位置で計測してください(確認は冷間時)。リペアマニュアル # 270962 を参照してください。

インテーク 0.13~0.18mm

エキゾースト 0.18~0.23mm

注: 実運転での馬力荷重は定格馬力の 85%を超過してはなりません。エンジン出力は、海拔が 300 メートル高くなるごとに 3-1/2%減少します。また、気温が 25°Cより 5.6°C高くなるごとに 1%減少します。エンジンは最高 15° までの傾斜角度で正常に運転します。

モデル・タイプ・コード番号

今後、交換部品や技術的なお問い合わせの際に、あなたのエンジンの Model(モデル)、Type(タイプ)、Code(コード)番号をご記入ください。またご購入日も併せてご記入ください。これらの番号は、エンジンに打刻されています。打刻場所については、「各部の名称」を参照してください。

Model(モデル)

--	--	--	--	--	--

Type(タイプ)

--	--	--	--	--	--

Code(コード)

--	--	--	--	--	--	--	--

テクニカル・インフォメーション

エンジンの出力定格情報

個々のガソリン・エンジン・モデルの総出力定格は、SAE(自動車技術者協会)のコード J1940(小型エンジン出力とトルクのレーティング手続き)に従ってラベル上に表示され、SAE J1995(改訂 2002-05)に従って定格性能が取得および訂正されました。

実際のエンジン総出力は、これより低く、特に、周囲動作条件および個々のエンジンの違いの影響を受けます。エンジンが搭載される製品が多種多様であることや、エンジンの運転に関するさまざまな環境の問題を考慮すると、ガソリン・エンジンは、動力装置の一部として使用されると、総定格出力には達しません。この差は、付属品(エア・クリーナ、排気装置、充電、冷却、キャブレタ、燃料ポンプなど)、使用制限、周囲動作環境(温度、湿度、緯度)、個々のエンジンの違いなど、さまざまな要因によるものです。製造上および能力上の制約により、ブリッグス & ストラットン は、このシリーズのエンジンの代わりにより高い定格出力のエンジンを使用することがあります。

エミッション情報

CARB(カルフォルニア大気資源委員会)の第 2 排ガス基準への適合が認定されたエンジンは、エミッション永続期間とエア・インデックスについて情報を表示しなければなりません。ブリッグス & ストラットン は、この情報をエミッション・ラベル上に表示し消費者にお知らせします。エンジンのエミッション・ラベルは、認定情報を示します。

エミッション永続期間は、取扱説明書に基づいて適切なメンテナンスを行った場合に、エンジンからのエミッションが適合していると認定される実稼動時間数を表します。以下のカテゴリが使用されます。

Moderate: エミッションが 125 時間の実エンジン稼動時間に適合していると認定されたエンジン

Intermediate: エミッションが 250 時間の実エンジン稼動時間に適合していると認定されたエンジン

Extended: エミッションが 500 時間の実エンジン稼動時間に適合していると認定されたエンジン。例えば、典型的な自走芝刈り機は、1 年あたり 20 時間から 25 時間程度の稼動時間です。従って「Intermediate」の評価をもつエンジンのエミッション永続期間は、10 年から 12 年となります。

一部のブリッグス & ストラットン 製エンジンは、USEPA(合衆国環境保護庁)の第 2 排ガス規制基準への適合が認定されています。第 2 排ガス規制基準に適合したエンジンの場合、エミッション適合ラベルに記載されるエミッション永続期間は、エンジンが連邦の排出要件を満たしているとされる操作時間数を示します。

一部のブリッグス & ストラットン 製エンジンは、USEPA(合衆国環境保護庁)の第 2 排ガス規制基準への適合が認定されています。第 2 排ガス規制基準に適合したエンジンの場合、エミッション適合ラベルに記載されるエミッション永続期間は、エンジンが連邦の排出要件を満たしているとされる操作時間数を示します。

エンジン排気量 225cc 未満の場合

カテゴリ C=125 時間

カテゴリ B=250 時間

カテゴリ A=500 時間

エンジン排気量 225cc 以上の場合

カテゴリ C=250 時間

カテゴリ B=500 時間

カテゴリ A=1000 時間

エンジンのメンテナンス

定期的なメンテナンスを行うことで、性能が改善し、エンジンの寿命が延びます。「ブリグス&ストラットン認定サービス・ディーラ」を参照してください。部品は、ブリグス&ストラットンの純正部品以外を使用しないでください。非純正部品を使用すると、性能が低下したり、エンジンが損傷を受けたり、ケガのもととなったりする可能性があります。また非純正部品を使用すると保証の対象外となります。

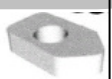
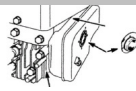
エミッション・コントロール

エミッション・コントロール装置およびシステムのメンテナンス、交換または修理は、非自動車用エンジンの修理業者または個人が行うことができます。しかし、ブリグス&ストラットンの保証書に記載された諸条項のもとで無料の修理を受けるには、任意のサービス、エミッション・コントロール部品の修理や交換は、工場認定のディーラが実施しなければなりません。詳細については、「エミッション情報」のセクションを参照してください。

以下の手順とスケジュールに従ってください。

作業

作業は、毎時またはシーズンのスケジュール(いずれか早いほう)に従って行ってください。

	8時間ごとまたは毎日	25時間またはシーズン毎	50時間またはシーズン毎	100時間またはシーズン毎	100-300時間
オイルレベルのチェック					
オイルの交換*					
エア・クリーナのフォーム・エレメントのサービス**					
スパーク・プラグの交換					
スパーク・アレスタの検査(装着している場合)					
空気冷却システムの洗浄**					
燃焼室の清掃					

* 最初の 5 時間～8 時間運転後、オイルを交換します。その後、50 時間ごとまたはシーズン毎に交換します。高負荷の状態や高温の条件下でエンジンを運転した場合は、25 時間ごとにオイルを交換してください。

** 埃っぽい環境または浮遊塵があるときは、清掃回数を増やしてください。非常に汚れている場合は、エア・クリーナ部品を交換してください。

*** スtring・トリマの適用時 - 燃料補給のたびに必要に応じて早めに小片や破片を取り除いてください。(「ゴミの除去」のセクションを参照)。エアクーリング・システムは、30 時間毎、シーズン毎に、あるいは特に小片や破片が多い条件下では必要に応じて早めに、しかるべきメカニックに清掃してもらってください(「エアクーリング・システム」のセクションを参照)。



警告



不意にスパークを出してしまうと、火災や感電が起こる恐れがあります。火災や爆発によって重大な火傷や死に至る恐れがあります。不意に始動すると、引き込まれてしまったり、体が切断されてしまったり、裂傷を負ったりする恐れがあります。

メンテナンスを行う前に

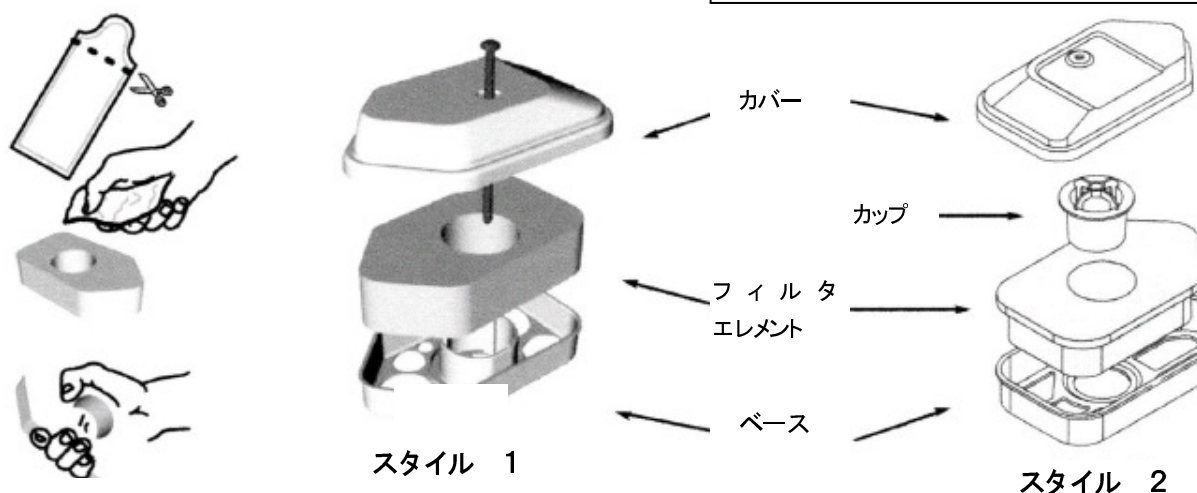
- ・ スパーク・プラグワイヤを外してスパーク・プラグから離しておいてください。
- ・ バッテリーからマイナス(－)端子を外してください(セルスタータ式エンジンの場合)
- ・ フライホイールは、ハンマや硬いものでたたかないでください。運転中に破損する可能性があります。
- ・ ガバナ・スプリング、リンク、その他の部品に手を加えエンジン速度を増加させてはなりません。
- ・ 適正な工具を使用してください。

スパーク・テスト中に

- ・ 承認を受けたスパーク・プラグ・テストを使用してください。
- ・ スパーク・プラグが外れた状態でスパークをチェックしないでください。

エア・クリーナ

モデル90000, 100000シリーズにはフォーム・エリメントエアクリーナが取り付けられています。



注 意

エアクリーナのフィルタ・エリメントにはオイルを必ず含ませてください。これによりエンジンのダメージを防ぎます。

フィルタのメンテナンス

- ・ スクリューを外します。
- ・ キャブレタ内にゴミを誤って落とさないよう注意して、エアクリーナを外します。
- ・ エアクリーナを分離して各部品を清掃します。オイルフォーム・エリメントは液体洗剤と水で洗ってください。その後、完全に乾燥させてください。オイルフォーム・エリメントにはオイルを浸み込ませ含ませてください。手で絞ってエリメントオイルがにじむ程度として、余分なオイルは除去してください。
- ・ オイルフォームをベースに入れます。(カップ付の場合はカップも)

注意 スタイル2のエアクリーナで、エリメントのリップがボディに被さるようにしてカバーを取付けてください。

- ・ エアクリーナをキャブレタに取付け、スクリューをしっかりと締め付けます。

モデル120000シリーズエンジンにはエアクリーナカートリッジがついています。カートリッジは長方形か楕円形をしています(図を参照してください) また、一部のエンジンは、プレクリーナがついています。

プレクリーナ

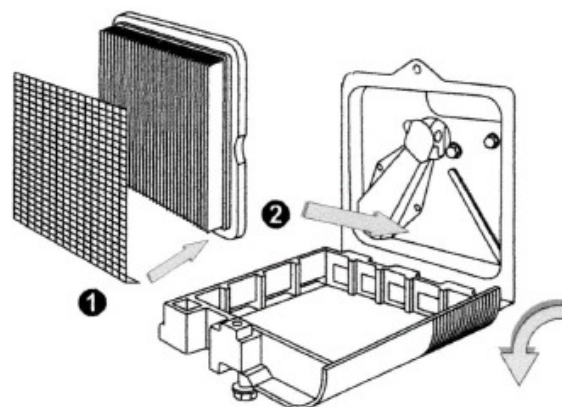
プレクリーナを清掃するには(装着されている場合)、カートリッジから取り外し、液体洗剤と水で洗ってください。その後、完全に乾燥させてください。オイルを含ませないでください。乾いたプレクリーナをキレイになったカートリッジに取り付けてください。

長方形のフラットエア・クリーナ

1. スクリューを緩めて、カバーを下ろしてください。
2. エア・フィルタを取り外してください。
3. プレクリーナ(1)が装着されている場合は、カートリッジのヒタ部(2)の底でプレクリーナのリップに新しいフィルタを取り付けてください。
4. ベースの底にあるスロットにカバーのタブを挿入してください。
5. カバーを上げてスクリューをしっかりと留めてください。

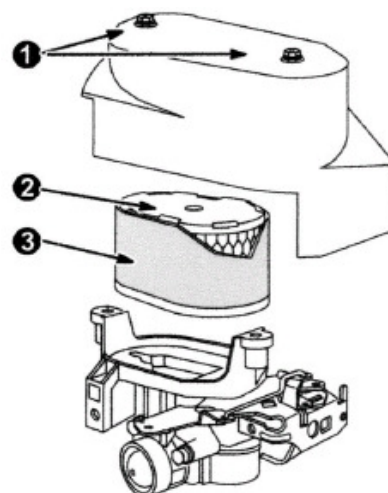
注 意

カートリッジの清掃に圧縮空気や溶剤を使用したりしないでください。圧縮空気はカートリッジを破損させる恐れがあり、溶剤は、カートリッジを溶かす可能性があります。



楕円形のエア・クリーナ

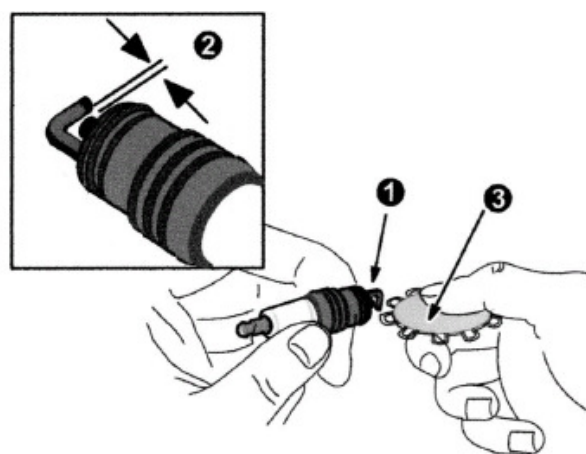
1. スクリュ(1)を緩めて、カバーを上を持ち上げるようにして取り外してください。
2. 小片や破片がエンジンに落ちないように、エア・クリーナ・カートリッジ(2)とプレクリーナ(3)（装着されている場合）を慎重にベースから取り外してください。
3. 新しいプレクリーナをカートリッジ上に置き、新しいカートリッジ・アセンブリをベースにしっかり取り付けてください。
4. エア・クリーナ上にカバーを置き、スクリュを締めてください。



スパーク・プラグ

スパーク・プラグは、100 時間ごとにチェックします。検査時に電極(1)が焼けているまたは磨耗している場合は、スパーク・プラグを交換します。スパークプラグがキレイであることを確認します。フィーラ・ゲージ(3)を使用してギャップ(2)をチェックし、必要に応じて0.51 ミリ (0.20 インチ) にリセットします。ブリッグス&ストラトン製スパーク・テスタ (部品番号 19368) を使用して、火花の有無をチェックしてください。

注意：地域によっては、地域の法律により、点火信号を抑えるために抵抗入りスパーク・プラグの使用が義務付けられています。このエンジンに当初より抵抗入りスパーク・プラグが付いている場合は、交換の際に同じタイプのものを使用してください。



燃焼堆積物

燃焼堆積物は、ブリッグス&ストラトン認定サービス・ディーラに 100~300 時間ごとにシリンダ、シリンダ・ヘッド、ピストンの先端、バルブの周囲から取り除いてもらうことをお勧めします。

マフラ

マフラの交換部品は、元の部品と同じで同じ位置に取り付けなければなりません。火災の恐れがあります。



燃料システム

燃料フィルタを交換する前には、燃料タンクを空にするか、燃料シャットオフ・バルブを閉じてください。燃料が漏れ出し、火災/爆発の危険性があります。

燃料システムの交換部品（キャップ、ホース、タンク、フィルタ等）は、元の部品と同じでなければなりません。火災の危険性があります。



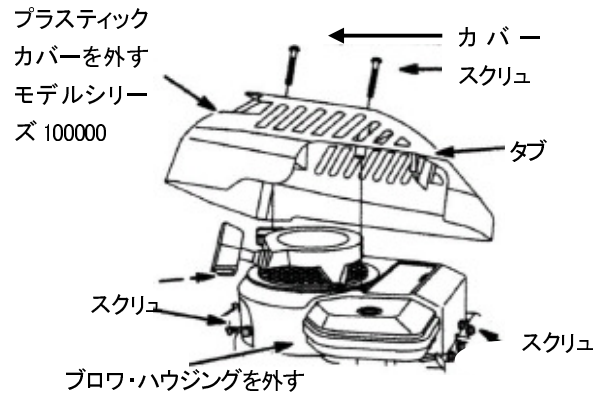
エアクーリング・システム

時間とともに、小片や破片がツリリングの冷却フィンに蓄積する可能性があります、このような片や破片は、エンジンを部分的に分解しない限り見つけることができません。このため、推奨する間隔で、ブリッグス&ストラットン認定サービス・ディーラに空気冷却システムを清掃してもらうことがお勧めです。同じように重要なのが、エンジンの上部に小片や破片がないことです。「小片や破片の清掃」のセクションを参照してください。

モデルシリーズ 90000, 100000

ブロー・ハウジングの取り外しと取り付け

1. カバーの 2 個のスクリュ(装備されている場合)を外します。タブが外れるまでカバーを持ち上げます。
2. ブロフハウジングの 3 個のスクリュを外します。
注意: バンドブレーキの 2 個のスクリュをなくさないよう注意してください。フライホイールガードを外したり、曲げないでください。
3. 図に示すエリアを清掃します。
4. ブロフ・ハウジング及びカバーを取付けます。



カバー/ブロウハウジング

注意

高圧洗浄機でエンジンを洗浄しないでください。水が燃料システムに入ることがあります。ブラシか乾いた布を使用してください。



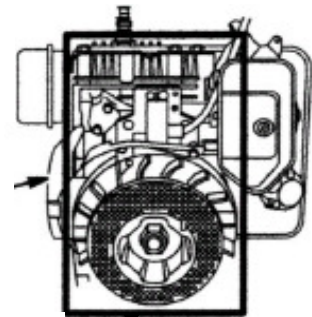
警告



エンジン部品はキレイな状態に保ち、過熱や蓄積した小片や破片による発火の危険性を減らす必要があります。このことは、背丈の高い草を刈るときに特に重要です。

太枠線の部分にはゴミ
がいっさい入らないよ
うにしてください。

曲げたり外さない
こと

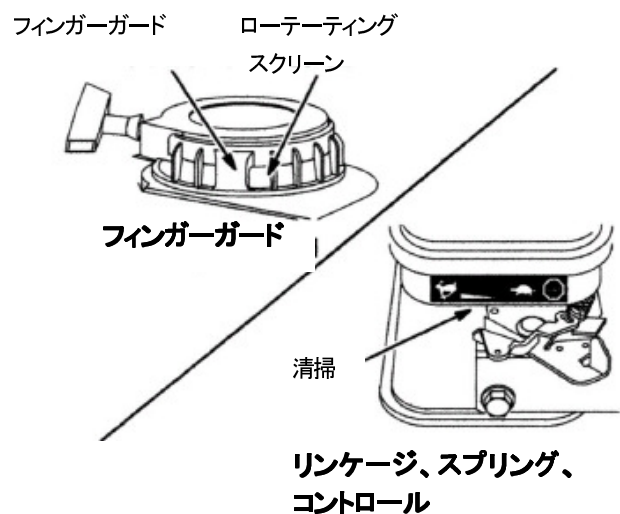


バンドブレーキ・スクリュを
なくさないこと

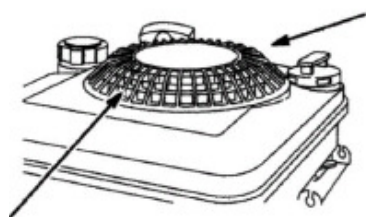
エアクーリング・システム

小片や破片の清掃

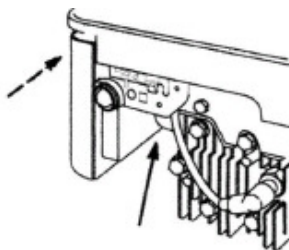
毎日あるいは使用の前に毎回、草、または蓄積した小片や破片をエンジンから取り除いてください。リンクージ、スプリングおよびコントロールはキレイな状態に保ってください。マフラの周囲や後ろに可燃性の小片や破片がないようにしてください。エンジンをキレイな状態に保つことでエンジンの周囲に空気の流れができます。



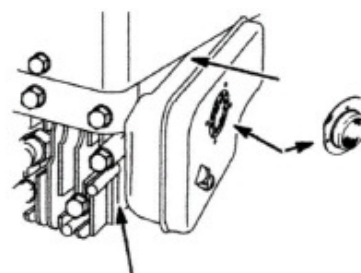
以下に示す全ての箇所を清掃してください。



フィンガーガード



リンケージ、スプリング、
コントロール



マフラ周辺部、
スパークアレスタ

キャブレタの調節

このエンジンのキャブレタは調節できません。



警告

エンジンが搭載される作業機のメーカーは、エンジンの最高速度を指定しています。この速度を超過してはなりません。

保 管

エンジンを 30 日以上保管する場合には、特に注意が必要です。

1. 燃料システムや重要なキャブレタ部分に粘性物質が形成されるのを防ぐために、次のことを行います。
 - a) 燃料タンクに含酸素ガソリンまたは改質ガソリン（アルコールまたはエーテルとブレンドされたガソリン）が含まれている場合は、燃料切れで停止するまでエンジンを作動させてください。
 - b) 燃料タンクにガソリンが含まれている場合は、燃料切れで停止するまでエンジンを作動させるか、あるいはタンク内の燃料にガソリン添加剤を添加してください（部品表を参照してください）。使い捨ての袋に入ったガソリン添加剤は、サービス・ディーラから入手できます。）ガソリン添加剤を使用する場合は、エンジンを数分ほど運転し、ガソリン添加剤がキャブレタに循環するようにしてください。これによって、エンジンおよび燃料は最大 24 ヶ月間保管できます。
2. エンジンがまだ温かい間にオイルを交換します。
3. スパーク・プラグを外し、約 15 ミリリットルのエンジン・オイルをシリンダに入れてください。スパーク・プラグを元に戻し、ゆっくりクランクを回し、オイルを全体にゆきわたらせてください。
4. エンジンから表面の小片や破片、または草を取り除いてください。
5. 乾燥したキレイなエリアに保管してください。ストーブ、炉、湯沸器のほか、パイロット・ライトを使用する器具や、火花が発生する可能性のある装置が設置されている場所には設置しないでください。



警告



作業機の搬送時

- ・ 燃料タンクを空にするか、燃料のシャットオフバルブを閉めて搬送してください。



ガソリンやタンクに燃料が入った作業機の保管時

- ・ 気化したガソリンに引火する恐れがあるため、ストーブ、炉、湯沸器のほか、パイロット・ライトやその他の着火源をもつ装置から離れた場所に保管してください。

サービス

「ブリッグス&ストラットン認定サービス・ディーラー」を参照してください。
各ブリッグス&ストラットン認定サービス・ディーラーは、ブリッグス&ストラットンの純正部品を取り揃え、特別なサービス・ツールを用意しています。訓練を受けた技術者が、すべてのブリッグス&ストラットン製エンジンに熟練した修理サービスを提供します。ブリッグス&ストラットン基準を満たすことができるのは、「ブリッグス&ストラットン認定サービス・ディーラー」と称する販売代理店だけです。ブリッグス&ストラットン製エンジンを搭載した作業機を購入したお客様には、6000 人を超す「マスター・サービス・テクニシャン」をはじめとして、世界中で30000 を越えるブリッグス&ストラットン認定サービス・ディーラーにて、高い技術力を誇る信頼あるサービスが保証されます。ブリッグス&ストラットン・サービスが提供される次の看板をお探してください。



最寄りのブリッグス&ストラットン認定サービス・ディーラーを見つけるには、弊社ウェブサイト (www.briggsandstratton.com) の「ディーラー検索地図」をご覧ください。「イエロー・ページ」の「エンジン、ガソリン」または「ガソリン・エンジン」または「芝刈機」その他のカテゴリをご覧ください。



注：歩く足のロゴや「イエロー・ページ」は、各種法令で保護されている登録商標です。

ブリッグス&ストラットンの純正部品の一覧（一部）

部 品 名	部品番号
オイルフォーム・エアクリーナ（モデル 90000, 100000）	698369
カップ付エアクリーナ・エレメント（モデル 90000, 100000）	272235 または 5047
長方形エア・クリーナ・カートリッジ（モデル 120000）	491588S または 5043
長方形エア・クリーナ・プレクリーナ（モデル 120000）	493537
楕円形エア・クリーナ・カートリッジ（モデル 120000）	497725
楕円形エア・プレクリーナ（モデル 120000）	273185
オイル	100005JP または 100028JP
燃料フィルタ（モデル 120000）	298090 または 5018
ガソリン添加剤	100002JP または 100031JP
抵抗入りスパーク・プラグ	802592
標準スパーク・プラグ	492167
長寿命プラチナ・スパーク・プラグ （ほとんどのレヘッド・エンジンに使用される）	5062
スパーク・プラグ・レンチ	89838
スパーク・テスト	19368
オイル・ポンプ・キット	5056

（標準的な電動ドリルでエンジンからすばやくオイルを抜く）

上記に記載するように、ショップ・マニュアルには、単気筒、サイドバルブ、4サイクルのブリッグス&ストラットン製エンジンの共通仕様と、調節、チューンナップ、修理に関する詳細の情報が記載されています。このマニュアルは、ブリッグス&ストラットン認定サービス・ディーラーから購入できますが、以下のサイトからも注文できます。

www.briggsandstratton.com

